

日本臨床外科学会 国内外科研修報告

東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科での国内外科研修を終えて

弘前大学消化器外科学講座

若狭 悠介

日本臨床外科学会の国内外科研修制度により、東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科で令和6年11月11日から11月22日までの2週間の期間で施設研修をさせていただきました。弘前大学消化器外科学講座の若狭悠介と申します。まず始めに、このような機会を与えていただきました日本臨床外科学会の万代恭嗣会長、国内外科研修委員会の高山忠利委員長をはじめとした委員の皆様、そして、東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科教授の長谷川潔先生をはじめとする医局員の先生皆様に、心から感謝申し上げます。

今回、私が東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科での研修を希望した理由は、同科が日本屈指の肝移植施設であり、肝胆膵外科疾患のhigh volume centerであること、さらに近年、ロボット支援下膵切除や肝切除などのminimally invasive surgery (MIS) の分野で学術発表が顕著であった点にあります。また、大学時代に大変お世話になった阿部学先生が同科でご活躍されていることも、研修地選定の大きな要因となりました。

東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科での研修ですが、手術日が月・水・金曜日に設けられており、火・木曜日はカンファレンスが行われておりました。河口義邦先生をリーダーとしたチームに配属いただき、ロボット支援下膵頭十二指腸切除術2件、ロボット支援下膵体尾部切除術1件のロボット膵切除手術を見学させていただきました。ポート配置、使用器具やデバイス、切除のアプローチ手順、再建方法などにつきまして、その都度河口先生から非常に丁寧にポイントをご説明いただきながら拝見させていただきました。特に、手術操作の中において時には左手を主体に剥離・切離操作をすすめることが非常に有用であることや、ロボット支援下膵頭十二指腸切除術での上腸間膜動脈に対するright lateral approachの実際など、動画だけでは理解しきれないロボット支援下手術における実践的な技術を直接ご指導いただけたことは、大変貴重な経験でした。さらに、東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科では、MISチームが立ち上がってからわずか2年半で安定した成績を収めており、術後在院日数（膵体尾部切除術：4日、膵頭十二指腸切除術：5日）の短さにも驚きました。これには術後早期の経口摂取開始やドレーン管理といった「攻め」の術後管理が寄与していると感じ、自施設にはない新たなアプローチに感銘を受けました。そして、私と同世代の先生方が術者または部分術者として多くのロボット支援下手術を経験されている姿を目の当たりにし、私自身の成長とともに後進を育てる重要性を痛感しました。

研修期間中は2件の生体肝移植にも立ち会わせていただきました。肝動脈、門脈、胆管、肝静脈走行や、レシピエントおよびドナーそれぞれのvolume renderingによる肝容量の評価など、詳細なカンファレンスが行われたのち実際の移植手術となるのですが、私自身、肝移植の経験が少ないことがあり、非常に新鮮な感覚で一連の流れを経験させていただきました。ドナー肝切除からバックテーブルにおける肝静脈形成、そしてそれぞれの脈管再建が流れるようにすすんでいき、生体肝移植手術という高難度手術があっという間に終わってしまったように感じられました。肝移植における脈管再建方法の技術は肝移植以外の手術にも活かしていくことが可能と考えられますので、この経験を通じて得た知見を自身の今後の手術に活かしていきたいと考えております。

河口先生のお取り計らいにより、11月20日に栃木県宇都宮市で開催されました「第18回肝臓内視鏡外

科研究会」および「第16回膵臓内視鏡外科研究会」に、東京大学チームの一員として共に参加させていただきました。肝臓、膵臓それぞれの鏡視下ないしロボット支援下手術に焦点を当てた非常にコアな研究会であり、様々な発表を見学させていただきましたが、東京大学チームにおいては、河口先生はもちろんのこと、賞を受賞された阿部先生だけではなく、入局1-2年目の若手の先生方がとても立派に発表されている姿が非常に心に残っており、東京大学の教育体制の素晴らしさを実感いたしました。

今回、日本トップクラスの施設であります東京大学で研修させていただき、2週間という短い期間ではございましたが、手術はもちろんのこと、カンファレンス、学術活動など、何を取っても生涯忘れられない新鮮で貴重な経験となり、肝胆膵外科医として今後も研鑽を積んでまいります。そして何より、東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科の先生方皆様があたたかく丁寧な私を迎え入れ、ご指導してくださいましたことが最も強く心に残りました。改めまして、東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科の先生方皆様に心より感謝申し上げます。

最後に、本研修に私をご推薦いただきました当科教授の袴田健一先生、研修中の業務を支えてくださいました弘前大学消化器外科学講座肝胆膵グループの皆様に、この場を借りて深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

